

# ワンプイ世界をぶらり旅

Estrella88

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

気づいたら無人島（つぼい所で）目が覚めた主人公

TSしたけど生きていけるのか（棒

# 目次

1

1



——なあ、アンタら、海賊だろう？アンタらも、海賊王：ひとつなぎの大秘宝ワンピースとやらを  
探してんのかい？

——待て待て、からかつてる訳じゃねえ、話を聞いてくれ

——世の海賊は、海賊王になる為にひとつなぎの大秘宝ワンピースを躍起になつて探してるそうだが、この辺りにやこんな噂話がある

——曰く、目には見えるのに辿り着けない島つてな

——どうだい？海賊にとつちやウマイ話じゃあねえか？

——何でも、その島に行けるのは、死んだヤツの魂だけだつてんだよ

——しかも、とんだ別嬪に会えるときた

——辿り着けねえのにそんなのどうやって知つたんだつてえ話だがな

——宝があるかどうかも分からねえ、そんな別嬪に会えるのかも分からねえ

——でもな、嘘つきノーランドつてえ昔話に、ないモンをあるつて言い通して、  
嘘つき呼ばわりされ、罰せられたヤツが居るが、誰もないつて証明できた訳じゃないだ  
ろう？

——俺はワン・ピースなんて殆どあると分かつてるようなモンを探すより、ないかもしれないモンを探して、生きて帰つて来たヤツこそ、真の海賊王に違えねえって、そう思うのさ

——信じるか信じねえかはアンタらの勝手だが、話に付き合つて貰つた変わりにここは一杯、俺に奢らせてくれや

——新世界、とある島

「ここに居ると、退屈しないねえ、…色んな人の魂が見れる」

「平和つてのは嫌いじゃないよ。なんてつたつてアタイの仕事が少なくなるからね。でもま、そうも言つてられない」

「聞いたところ、大航海時代だっけ？よく見る海賊の魂つてのには、それぞれ野望なりなんなりはあるにしても、自分らの正義を掲げてる」

「アタイは別に、海賊になりたい訳じゃないのに…でも自由度の低そうな海軍にもなりたくない。ましてや、誰かのための解放軍なんて、真平御免さ」

「世界を自由に見て回るには、海賊が一番楽だね」

歪んだ鎌を携え、彼女は啜う

「取り敢えず、暫くは鍛錬かねえ…覇氣つてのが使えないと、話にならないらしいしさ」「悪いけどその間、死神業は…というかこれから、か…廃業だね」

「加えて手頃な金ヅルでもいれば完璧なんだけど、今回は運賃の代わりに情報を貰っちゃまったからね、：後で賞金首狩りにでも行くとしようかねえ」

鍛錬。パート？そんなものは当然ない。次の話では鍛錬の後から始まることだろう

もしかしたら、既にテキトーな海賊に入ってるいるかもしれないが——ご都合主義、という言葉は皆さんも知っているだろう？